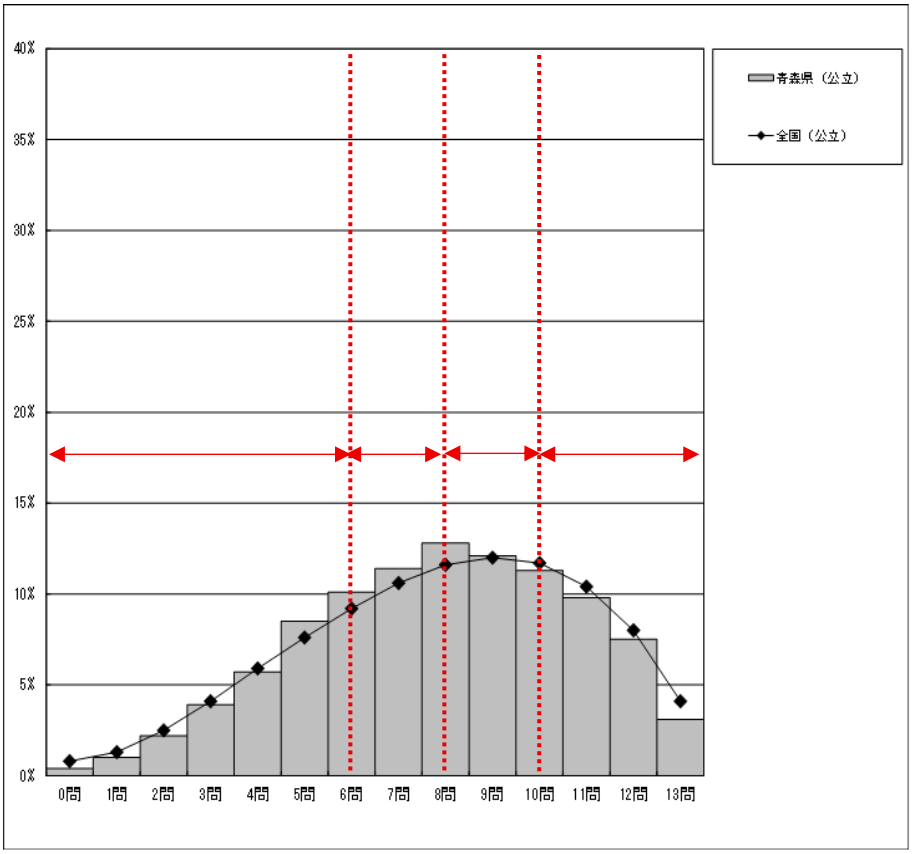
Ⅱ 小学校

Ⅰ 正答数

①国語

・正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）



・正答数集計値

正答数	青森県(%)	全国(%)
13問	3.1	4.1
12問	7.5	8.0
11問	9.8	10.4
10問	11.3	11.7
9問	12.1	12.0
8問	12.8	11.6
7問	11.4	10.6
6問	10.1	9.2
5問	8.5	7.6
4問	5.7	5.9
3問	3.9	4.1
2問	2.2	2.5
1問	1.0	1.3
0問	0.4	0.8

・四分位

	青森県（公立）	全国（公立）
第3四分位	10.0問	10.0問
第2四分位	8.0問	8.0問
第1四分位	6.0問	6.0問

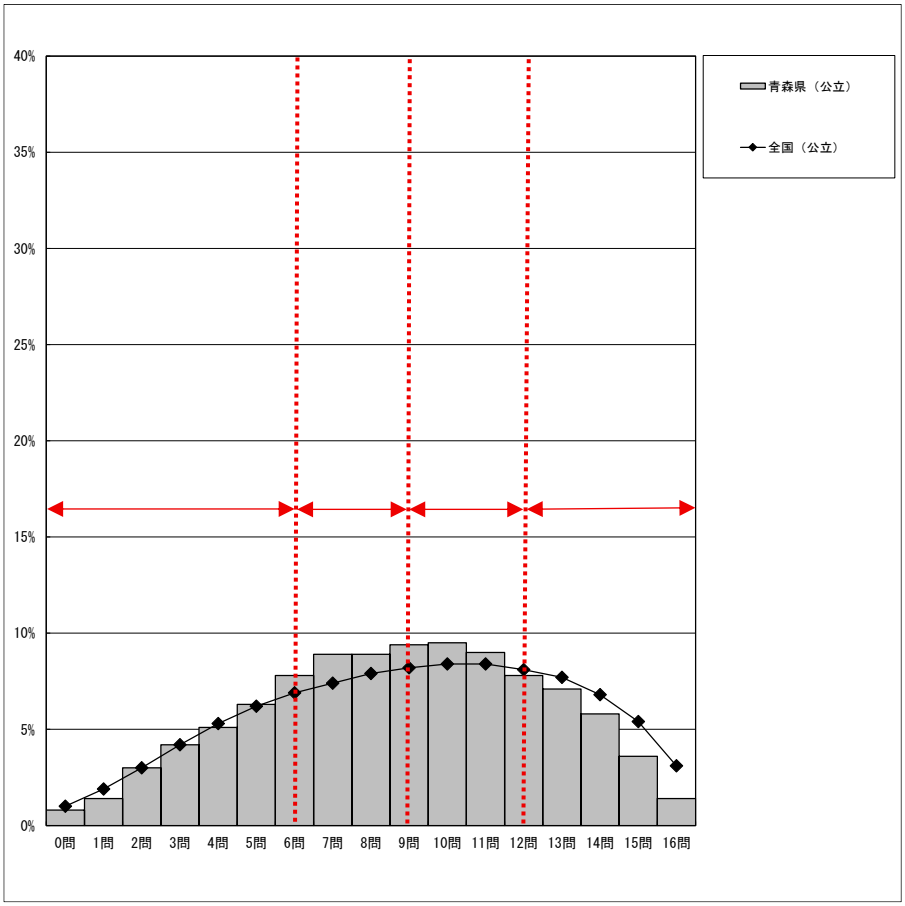
【ミニ解説】四分位（しぶんい）とは？
・データを小さい順に並べたとき、全体を4等分する（25%ずつ）3つの区切りのことです。
・データの散らばり具合を知るために使います。
第3四分位 下から75%の位置
第2四分位 50%の位置（中央値）
第1四分位 下から25%の位置

□正答数分布グラフ・正答数集計値
・正答数10問以上の割合はいずれも全国を下回っている。
・正答数5問～9問の割合はいずれも全国を上回っている。
・正答数4問以下の割合はいずれも全国を下回っている。
□四分位表
・第1四分位、第2四分位、第3四分位とも全国と同じである。

○本県は、全国に比べて正答数0問～4問の割合が少なく、正答数5問～9問の割合が高いことから、中位層の児童への学習指導が充実していることが考えられる。今後は、上位層の児童への学習指導をさらに充実させていくことが必要と考えられる。

②算数

・正答数分布グラフ（横軸：正答数　縦軸：割合）



・正答数集計値

	青森県%	全国%
16問	1.4	3.1
15問	3.6	5.4
14問	5.8	6.8
13問	7.1	7.7
12問	7.8	8.1
11問	9.0	8.4
10問	9.5	8.4
9問	9.4	8.2
8問	8.9	7.9
7問	8.9	7.4
6問	7.8	6.9
5問	6.3	6.2
4問	5.1	5.3
3問	4.2	4.2
2問	3.0	3.0
1問	1.4	1.9
0問	0.8	1.0

・四分位

	青森県（公立）	全国（公立）
第3四分位	12.0問	12.0問
第2四分位	9.0問	9.0問
第1四分位	6.0問	6.0問

【ミニ解説】四分位（しぶんい）とは？

・データを小さい順に並べたとき、全体を4等分する（25%ずつ）3つの区切りのことです。

・データの散らばり具合を知るために使います。

第3四分位　下から75%の位置

第2四分位　50%の位置（中央値）

第1四分位　下から25%の位置

□正答数分布グラフ・正答数集計値・四分位表

・各層の区分基準となる四分位は、第1四分位、第2四分位、第3四分位ともに全国と同数である。

・四分位に基づく各層の正答数集計値の各割合を全国と比較すると、下位層（第1四分位まで）及び上位層（第3四分位から）の各割合は概ね全国を下回っている。

・中下位層（第1四分位から中央値まで）及び中上位層（中央値から第3四分位まで）からなる中位層の各割合は概ね全国を上回っている。

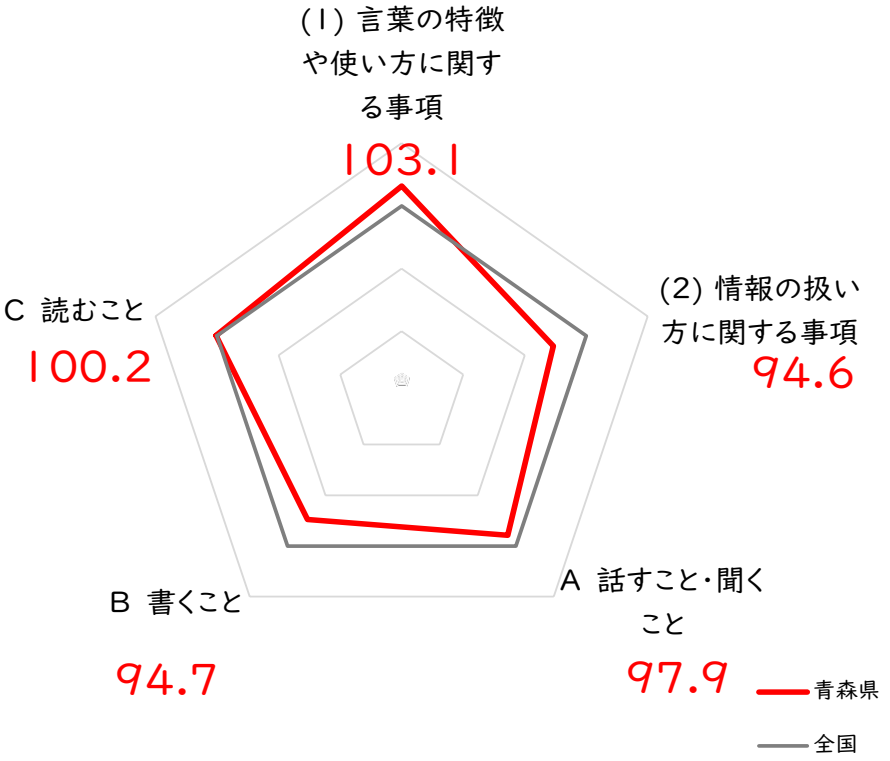
○下位層の割合が低く、中位層に厚みがあることから、各校においてつまずきのある児童への支援や基礎・基本の定着に向けた丁寧な指導が着実に実を結んでいると捉えられる。

○上位層の割合を高めていくため、厚みのある中位層の課題を各校・各学級で分析し、課題解決に向けた手立てを講じることで、児童一人一人の「主体的・対話的で深い学び」を実現できる授業改善を図ることが大切と考えられる。

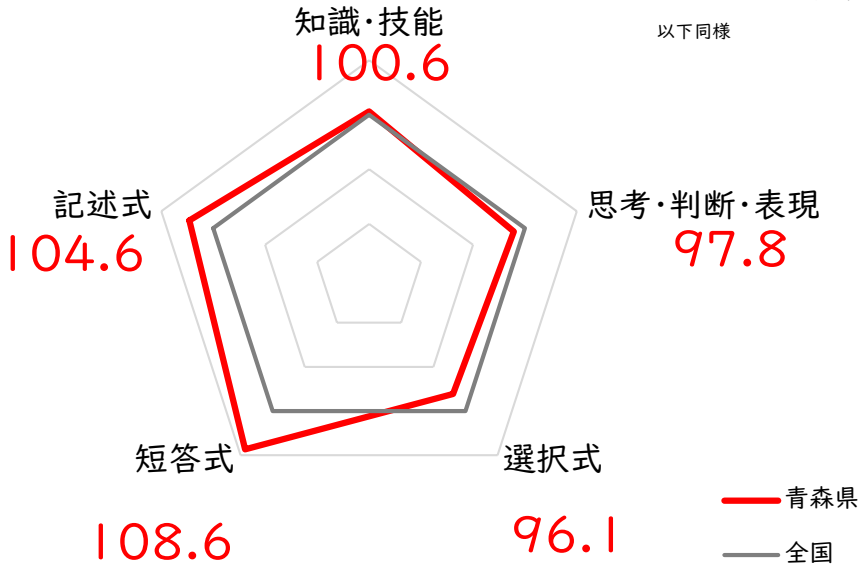
2 正答率

①学習指導要領の内容及び評価の観点、問題形式

（ア）国語

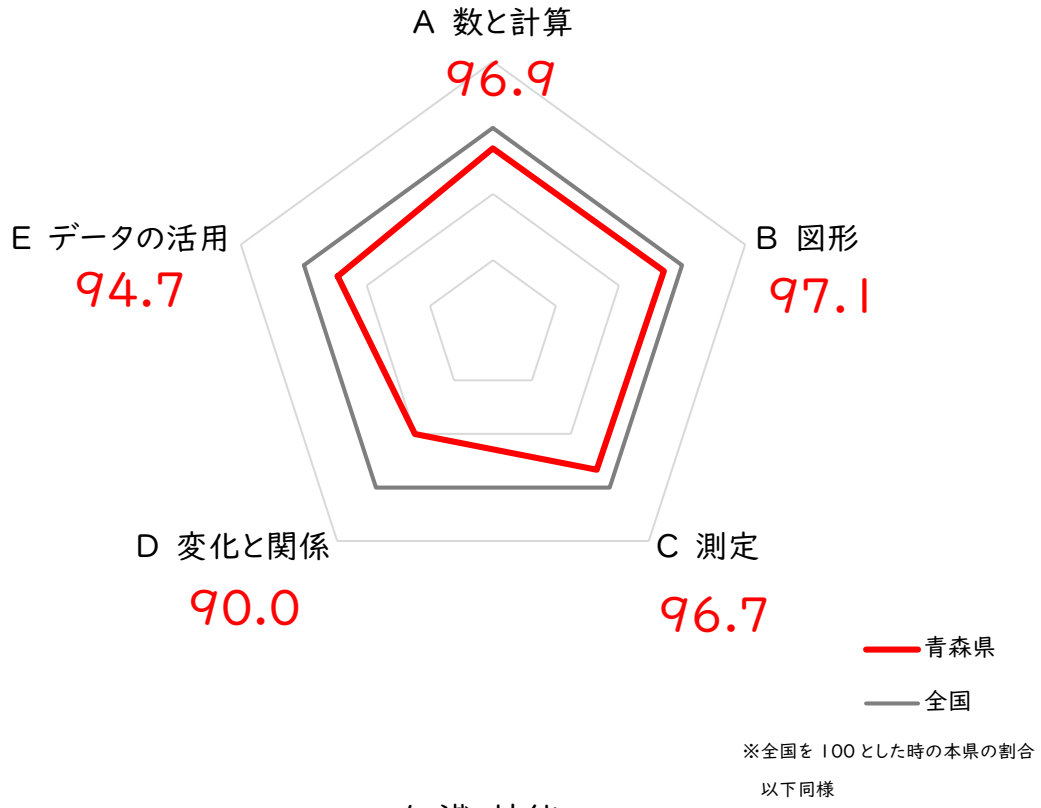


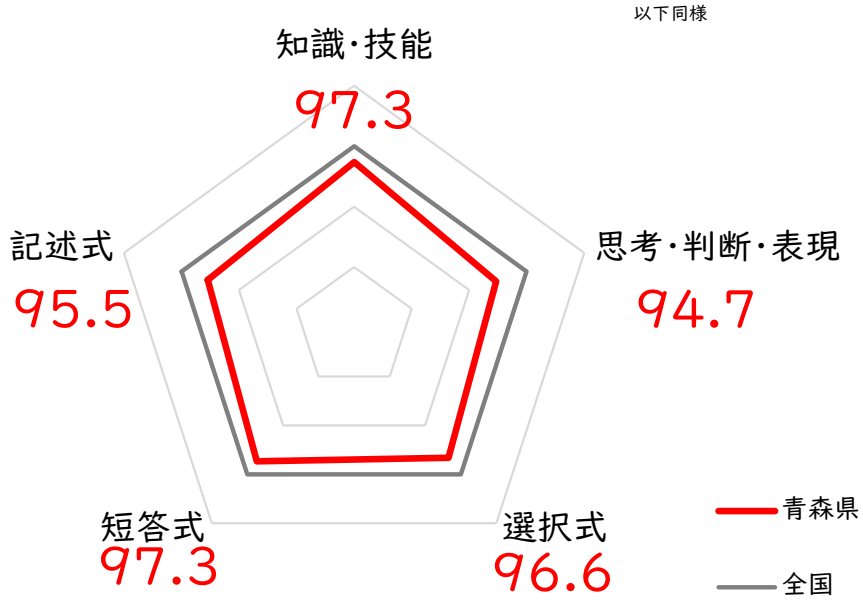
※全国を 100 とした時の本県の割合
以下同様



・内容別では、「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」が全国を下回っている。「C 読むこと」が全国とほぼ同じである。(1)「言葉の特徴や使い方に関する事項」が全国を上回っている。一方で、(2)「情報の扱い方に関する事項」が全国を大きく下回っている。
・評価の観点別では、「知識・技能」の観点が全国を上回り、「思考・判断・表現」の観点が全国を下回っている。
・問題形式別では、「短答式」が全国を大きく上回り、「記述式」が全国を上回っている。一方で、「選択式」が全国を下回っている。

（イ）算数

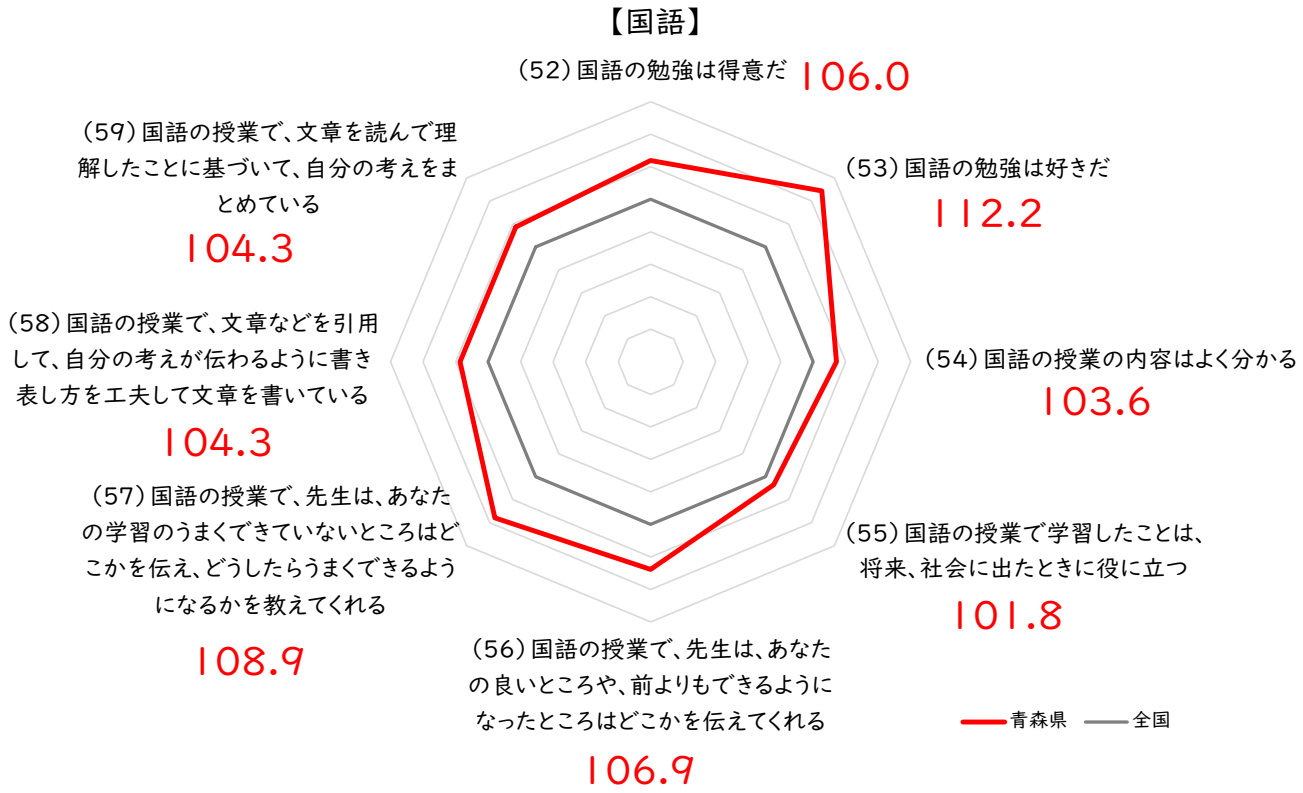




・領域別、観点別、問題形式別の正答率は、全ての項目で全国を下回っている。
・領域別では、特に「D 変化と関係」「E データの活用」が全国を大きく下回っている。
・観点別では、特に「思考・判断・表現」が全国を大きく下回っている。

○各校において、自校の課題分析を行い、課題解決に向けた授業改善の取組が必要と考えられる。
○特に課題が見られた「D 変化と関係」「E データの活用」等の領域で、問題解決の過程や理由を自らの言葉や式で筋道立てて説明・記述する活動を充実し、「思考・判断・表現」の育成と「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進していくことが大切と考えられる。

3 児童質問調査



【国語】
・全ての項目で肯定的回答の割合が全国を上回っている。
・特に、(52)「国語の勉強は得意だ」、(53)「国語の勉強は好きだ」については、肯定的回答の割合が大きく上回っている。
・国語の授業における教師の関わりに関する質問(56)(57)の割合については、全国を大きく上回っている。

○本県の児童の国語学習に対する意欲や授業の理解度等は概ね良好な状況と捉えられる。この結果から、教師が学習の状況を見取り、適切な支援や価値付けを行っていると考えられる。

【算数】

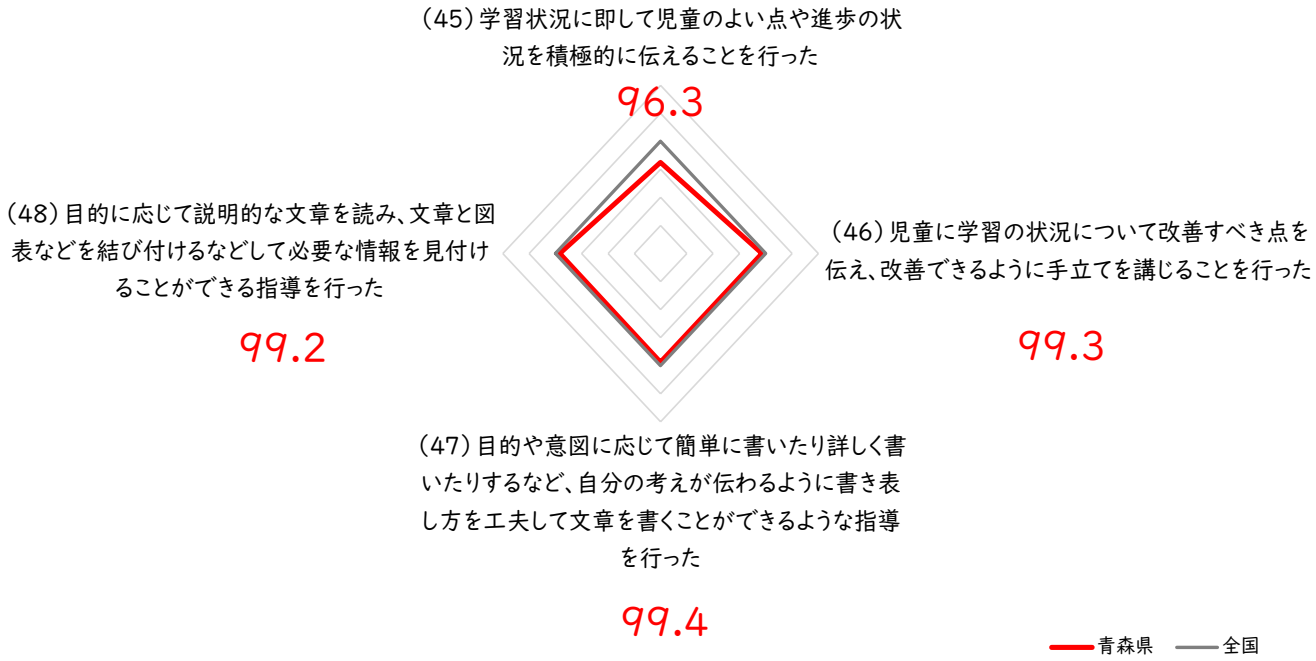


【算数】
・全ての項目で肯定的回答の割合が全国を上回っている。
・特に、(66)「算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っている」については、肯定的回答の割合が大きく上回っている。

○算数への意識や学習活動等についての肯定的回答は、各校における基礎・基本の定着や授業改善への取組の成果であり、学習への肯定的態度が形成されている状態と考えられる。
○指導に活かす評価によって高めた安心感や意欲を土台とし、多様な考えを練り合う対話的な学びの拡充を図り、統合的・発展的に思考する深い学びを推進していくことが大切と考えられる。

4 学校質問調査

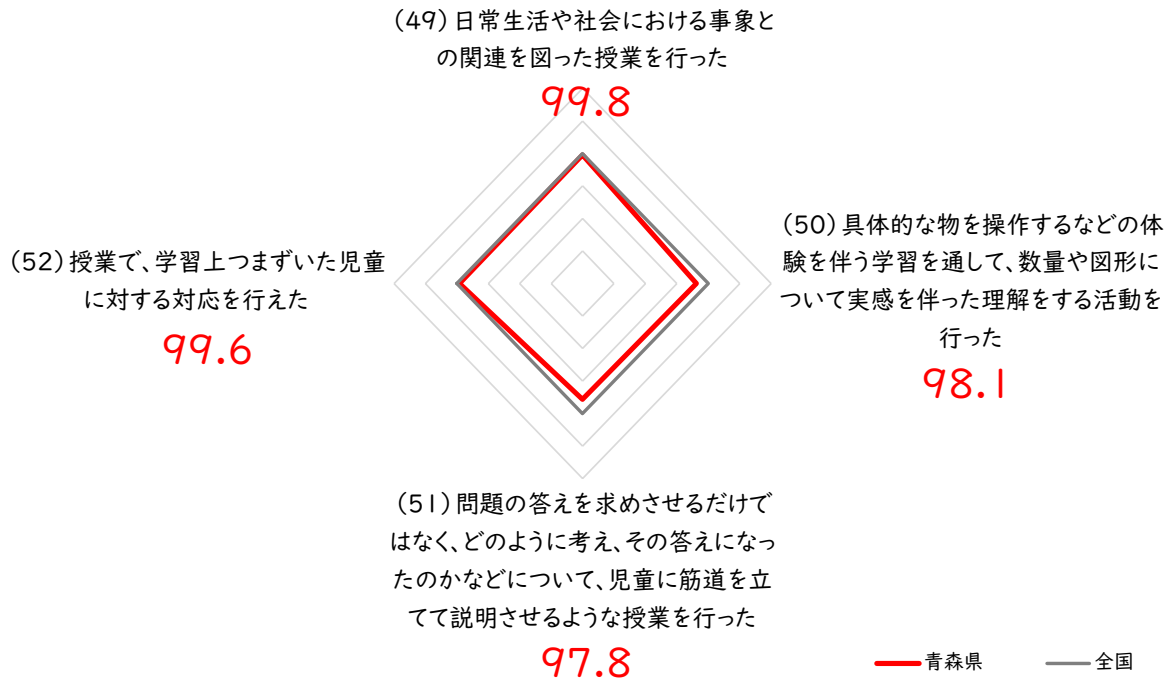
【国語】



【国語】
・全ての項目で肯定的回答の割合が全国を下回っている。
・(45)「学習状況に即して児童のよい点や進歩の状況を積極的に伝えることを行った」における学校質問調査の割合は全国を下回っているが、児童質問調査では上回っている。

○概ね全国と同程度と捉えられる。教師が行う学習状況の見取りや支援、価値付けが学習のねらいとしている資質・能力の育成につながるものになるよう、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に引き続き取組が必要と考えられる。

【算数】



【算数】
・全ての項目で肯定的回答の割合が全国を下回っている。
・(51)「問題の答えを求めさせるだけではなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、児童に筋道を立てて説明させるような授業を行った」における学校質問調査の割合は全国を下回っているが、児童質問調査では上回っている。

○具体物を操作するなどの体験を伴う学習をさらに充実させるとともに、結果だけでなく考え方や過程について、児童が筋道立てて説明し合う学習活動を一層展開し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組を進めていくことが大切と考えられる。

5 指導改善のポイント

①国語

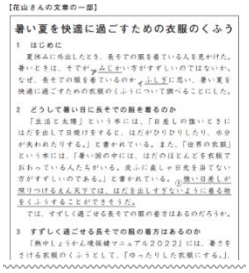
結果のポイント　B 書くこと〔思考力、判断力、表現力等〕
筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることに課題がある。

☞ 相手に分かりやすく伝わるように、伝えたいことや知らせたいことを明確にし、首尾一貫した展開となるよう、論の進め方に注意して組み立てた文章のこと

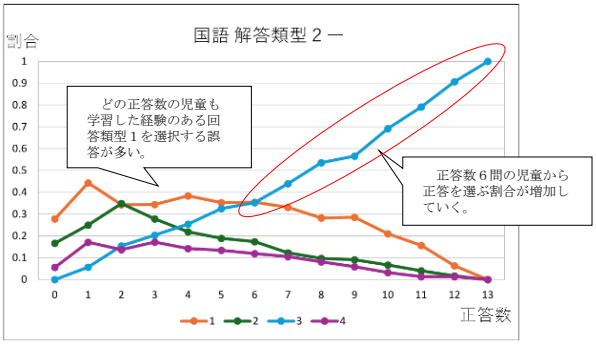
具体的な設問例 大問2一　「夏を快適に過ごすための工夫について報告する文章を書く」という言語活動の中で、花山さんの文章の工夫を説明したものとして適切なものを選ぶ問題

全国の「B 書くこと」の平均正答率は、学習指導要領の他の内容に比べて低く、本県でも同様の傾向である。また、大問2一は全国と比べて、平均正答率が4.7%低い状況にある。

花山さんは、読み手も一緒に考えて読むことができるように、疑問と調べて分かったこと、次の疑問を繰り返して書いている。しかし、誤答の児童はその文章の構成や展開を捉えられなかったと考えられる。中でも、解答類型1を選んだ児童は、調査を報告する文章の典型例として選択した可能性がある。


【花山さんの文章の一部】
暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう
1 はじめに
夏休みに外出したとき、長そでの服を着ている人を見かけた。暑いとき は、そ でが みじかい方がすずしいのではないか。なぜ、長そでの服を着ているのか、 ふしぎ に思い、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることにした。
2 どうして暑い日に長そでの服を着るのか
「生活で大得」という本には、「日差しの強いときにはだを出して日焼けすると、はだがひりひりしたり、水分が失われたりする。」と書かれている。また、「世界の衣服」という本には、「暑い国の中には、はだのほとんどを衣服でおおっている人たちがいる。真っ白 に 近い 長そで 日光を 通さない 方がすずしいのである。」と書かれている。 強い日差しが照りつける 夏 の 天気では、はだを 出して すずしい ように 着る 物を くふう することができそうだ。
では、すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのだろう。
3 すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのか
「熱中しょうかん 増保健マニュアル2022」には、暑さを さける 衣服の くふう として、「ゆったりした 衣服に する。」

解答類型		反応率(%) 本県(公立)	全国(公立)
1	調査の目的や手順、調査結果を順序立てて書いている。	26.7	25.2
2	結論を最初に述べ、それを支える事例を複数取り上げて書いている。	11.8	9.4
3（正答）	疑問と調べて分かったこと、次の疑問をくり返して書いている。	53.2	57.9
4	複数の事例の長所と短所を比べて書いている。	7.8	6.4
99	上記以外の解答	0.2	0.2
無解答		0.3	0.8



指導改善のポイント

筋道の通った文章にするためには、児童が「読み手にどのように読み進めてほしいか」という目的を明確にし、それにふさわしいつながりや配列を意識して文章全体の筋道を整えていくことが大切である。そのためには、どのようなつながりや配列があり、それぞれにどのような効果があるのかを、教師が整理しておくことが必要である。その上で、論の進め方が異なる複数の文章を読み比べ、それぞれの効果について整理し、目的に応じて選択して書く学習などが考えられる。

「筋道の通った文章」指導の系統性

- 第1学年及び第2学年
  「事柄の順序」
- 第3学年及び第4学年
  「書く内容の中心を明確に」
- 第5学年及び第6学年
  「つながりや配列を意識して文章全体の筋道を整える」
  例えば
  考えと理由や事例
  原因と結果
  疑問と解決　など

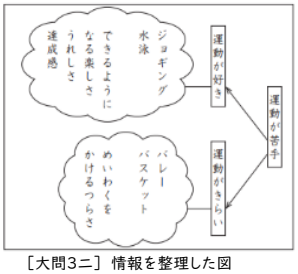


関連して☞ 情報の扱い方に関する事項〔知識及び技能〕

全国を下回っている問題

〔大問2ニ〕
・考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解すること

〔大問3ニ〕
・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと



〔大問3ニ〕情報を整理した図

	本県	全国
大問2ニ	47.8%	48.9%
大問3ニ	51.1%	55.6%

〔知識及び技能〕は〔思考力、判断力、表現力等〕の指導事項と関連を図り、年間を通じて複数回、意図的に指導し、児童が体験的に身に付けていけるようにすることが大切である。（参照：令和6年度、令和7年度指導例）

指導改善のポイント
令和6・7年度
指導例

②算数

結果のポイント

①**大問1（3）** 1㎤の立方体を36個使ってできた直方体の体積を書く問題
・体積の意味について理解することに課題（県正答率 34.2%）

②**大問2（4）** 赤いテープの長さが、白いテープの長さの1.5倍になっている図を選ぶ問題
・基準量、比較量、割合の関係を正しく捉えることに課題（県正答率28.8%）

③**大問4（3）** 二次元の表から、前半にあやとりに参加する人数と、前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数を書く問題
・二次元の表から、条件に合う数を読み取ることに課題（県正答率12.8%）

1

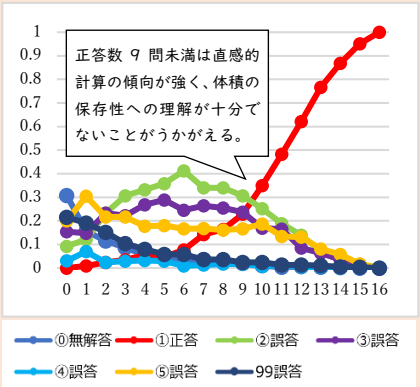
(3) 1 cm³ の立方体が 36 個あります。36 個をすべて使って、高さが 4 cm の直方体を 1 つ作りました。
その直方体の体積は何 cm³ ですか。
答えを書きましょう。

高さが4cmだから
36×4？

分析結果と課題
○体積の意味についての理解に課題。
○36や4を使った計算の答えなどを体積としている。

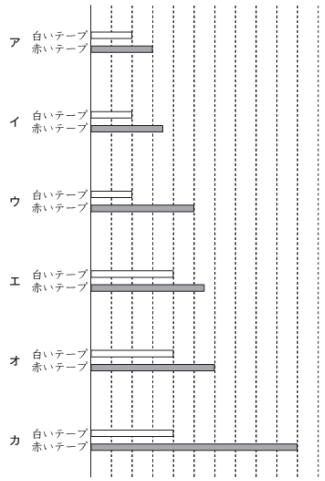
解答類型
①36（㎤）…34.2%
②144（㎤）…24.3%
③9（㎤）…18.3%
④4（㎤）…1.4%
⑤4の倍数（36、144、4以外）…14.9%

解答類型1（3） 児童の割合×正答数



2

(4) 赤いテープの長さが、白いテープの長さの 1.5 倍になっている図はどれですか。
下の ア から カ までの中から2つ選んで、その記号を書きましょう。



解答類型
①ア、オ…28.8%
②イ、エ…40.4%
③ウ、カ…10.7%
④ア、エ ア、カ…3.7%
⑤イ、オ ウ、オ…5.2%

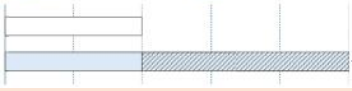
分析結果と課題
○示された基準量と割合から、比較量を捉えることに課題
○基準量の1.5倍に当たる比較量を1.5目盛り多い量や1.5倍分を合わせた量と捉えている。

○解答類型2
基準量の1.5倍に当たる比較量を1.5目盛り分多い量と捉える



1.5目盛りの差が1.5倍ということ？

○解答類型3
基準量の1.5倍に当たる比較量を1.5倍分を合わせた量と捉える



1.5倍だから合わせる？

4

(3) さくらさんたちは、前半と後半のあやとりやかるたに参加する 1 年生の人数を下の表にまとめました。

前半と後半の遊びごとの人数 （人）

		後半 あやとり	後半 かるた	合計
前半	あやとり	4	9	13
前半	かるた	8	7	15
合計		12	16	28

さくらさんたちは、あやとりに参加する 1 年生にひもをわたします。
わたすひもの本数を知るために、表からあやとりに参加する人数を調べると、次のことがわかります。

前半にあやとりに参加する人数は ㋐ 人です。
前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数は ㋑ 人です。

上の㋐、㋑に入る数を、それぞれ書きましょう。

解答類型
①ア 13、イ 8…12.8%
②ア 13、イ 9… 0.9%
③ア 13、イ 類型1、2以外又は無解答… 26.9%
④ア 4又は9、イ 8…20.7%
⑤ア 4又は9、イ 9…6.4%
⑥ア 4又は9、イ 類型1、2以外又は無解答…17.9%

分析結果と課題
○二次元の表から、条件に合う数を読み取ることに課題
アを13……48.3%
イを8……39.0%
アを4又は9…42.2%

同じ遊びだけど前半、後半どっちの数？